

## 1 4 . 病理診断科臨床研修プログラム

### 1. プログラムの目的と特徴

初期研修期間内に臨床検査部門、特に病理検査の教育を行う。

### 2. 基本的指導体制

病理診断科の研修は、内科および外科の研修期間内に調整の上、病理診断科に出向する形式で行う。期間は1～2週間程度が望ましい。なお、出向ではなく病理診断科で1ヵ月間の研修も可能である。

病理診断科では、指導医のもとで臨床検査の実際と病理診断の基本を研修する。

### 3. 業績リスト

病理検査検体 : 3,300 件

細胞診検査検体: 6,000 件

病理解剖 : 6 例

### 4. 研修の目標と研修内容

臨床検査の流れの概要と検査依頼時の注意点

病理検査・細胞診検査の流れと検査依頼時の注意点

生検標本・手術標本・細胞診検体の扱い方

ルーチン標本の検鏡診断の実際

病理解剖技術の習得

CPC での症例提示と CPC 報告書の作成 (最低 1 例以上)

顕微鏡写真撮影の基本

### 5. 研修医の評価

研修医は随時自己評価を行い、指導医が到達度を適宜チェックし評価する。